

しゃきよう
「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

Y ホームページアドレス Y
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>



編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町 2-1
TEL.046-824-3435
046-821-1301
FAX.046-827-0264

令和元年
Reiwa



横須賀の福祉は、みんなが主役!



6月2日(日)、24回目の開催となった「ふれあいフェスティバル」に約5,500人が来場しました。障害者地域作業所、福祉施設、市民グループ、企業など51を超える団体が参加して、大勢のボランティアの協力もあり、子どもからお年寄り、障害のある人もない人も一緒に楽しみました。



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費ならびに共同募金配分金を財源として発行しています。



平成30年度 ありがとうございました！ 共同募金運動のご報告

横須賀市では、10月から行う「赤い羽根募金」(一般募金)と12月に行う「年末たすけあい募金」を統合し、「共同募金運動」として年1回、10月から12月にかけて取り組んでいます。

市民の皆さまをはじめ、町内会・自治会、地域の商店、企業、学校、福祉施設・団体のご協力により多くのご寄付をいただき、ありがとうございました。次のとおり、募金結果と配分先をご報告します。

町内会など
各家庭から

企業・商店から

保育・幼稚園から
専門学校まで幅広く公共施設に
設置した募金箱

募金方法	戸別募金	街頭募金	法人募金	職域募金	学校募金	イベント募金	その他の募金	合 計
件数(件)	106,849	165	824	209	81	18	55	108,201
合計(円)	62,220,723	1,885,231	2,210,100	2,301,452	607,103	85,590	454,597	69,764,796

駅や商店街などに
立ち集めます。職場単位で
集めます。地域の
イベント会場で

福祉施設・団体等へ配分

60%

**赤い羽根募金分
(41,858,878円)**

市内の	児童養護施設	1,000,000円
	障害者施設	5,100,000円
	障害者地域作業所・地域活動支援センター	350,000円
	障害者グループホーム	510,000円
	子育て支援事業所	390,000円
横須賀市社会福祉協議会		19,683,082円
神奈川県共同募金会横須賀市支会事務経費		3,290,000円
県内他市町村の福祉施設・ 広域事業実施団体への配分、災害準備金等		11,535,796円

40%

**年末たすけあい募金分
(27,905,918円)**

市内の	障害者地域作業所・地域活動支援センター	1,195,000円
	障害者関係団体	430,000円
	在宅障害者地域訓練会	610,000円
	児童養護施設・乳児院・里親会	171,000円
	高齢者団体	49,000円
	18地区社会福祉協議会	25,196,918円
	年末配食サービス事業 (18地区社会福祉協議会)	254,000円



障害者の就労継続支援B型事業所 「なごみ」 厨房業務用エアコンの設置

～寄付者へのありがとうメッセージ～

「なごみ」では、お弁当の製作・配達・販売をしています。作業には、白衣・作業キャップ・アームカバーを着用するため、夏は暑く大変でした。共同募金で厨房用のエアコンを設置することが出来、これからは快適に作業に取り組めることに感謝しています。

共同募金は、遠くのだけではなく、県内及び横須賀の福祉のために還元されるしくみです。

今後とも皆さまの温かいご協力をお願いいたします。



久里浜地区社協 子どもたちの自然体験



港南地区社協 坂本「高齢者体操教室」

あなたのまちの地区社協

～シリーズ第4回～
北下浦地区社協

人との繋がりを大切に 支え合う町づくりを

北下浦地区社会福祉協議会 会長 泉田 桂子

活動組織

当地区社協は町内会・自治会、民生委員児童委員、社会福祉推進委員、保護司、福祉施設、ボランティアセンター、学校関係、行政センターのメンバーで構成されています。
企画委員会を設け月に1回、福祉活動の検討、行事の立案を行っています。
部会は「高齢者福祉部会」「障がい児者福祉部会」「児童福祉部会」の3部会を設けるほか、「ボランティア運営委員会」「広報部会」の担当委員も参加し全体的な連携を大切にしながら積極的に活動を進めています。

主な活動

- ◎合同研修会**
地区社協、地区民児協（民生委員児童委員協議会）、全町内会・自治会との共催により年1回開催します。
昨年度は、災害時の対応についての自由討議を行いました。北下浦地域を災害面から深く考え、再確認する機会となりました。
- ◎フリフリグッパ体操&スロー筋トレ体操**
平成17年から“元気な高齢者の多い北下浦”を目指して続けており、現在15の町内会・自治会で月1回～毎週ごとに実施されています。
- ◎「障がい児者の集い みかん狩り」**
毎年、障がいをお持ちの方と、家族をみかん狩りに招待。民生委員児童委員、社会福祉推進委員との貴重な触れ合いの場になっています。津久井浜のみかん園で開催しています。
- ◎広報誌「あおぞら」の発行**
年3回発行し、地区内全世帯に配布しています。
- ◎おひとり暮らし高齢者の集い**
中学生による「北中ソーラン」の披露と、踊りの会の華やかな日本舞踊、行政センターと参加者によるキャッシュカード詐欺防止のための寸劇も好評でした。
会場の行政センターまで、希望の方をバスで送迎しました。
昨年度は送迎の一部で「横須賀老人ホーム」の尽力をいただきました。



大勢でフリフリグッパ体操

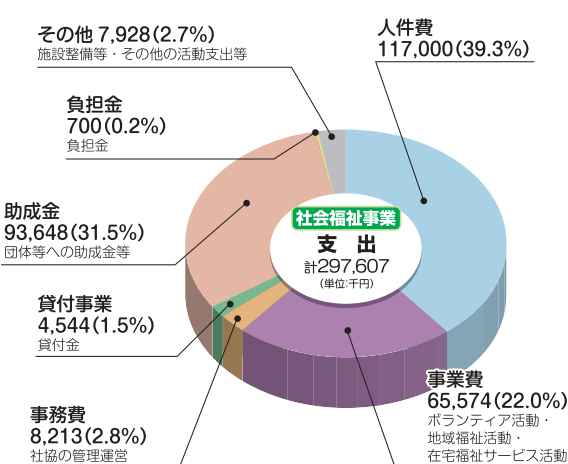
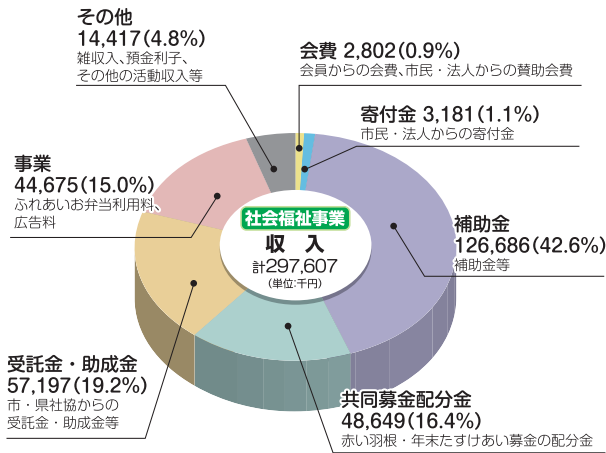


「障がい児者の集い みかん狩り」
味は“どうだった～？”

<市社協からのコメント>.....

活動の一つである「フリフリグッパ体操&スロー筋トレ体操」は、認知症予防と体力増強を兼ねた体操です。北下浦地区社協では、地域住民の健康増進や住民同士の交流の場となるよう、この体操の普及に力をいれています。現在は多様な運動を取り入れたり、体操の合間には親睦を深める雑談や、ときのニュースについて話あったり、講師を招いての勉強など、内容もそれぞれの地区で工夫が見られます。

平成30年度 横須賀市社会福祉協議会の決算状況



貸借対照表

(単位:千円)

《資産の部》	351,352	《負債の部》	125,027
		《純資産の部》	226,325
合 計	351,352	合 計	351,352

市社協事業に対する皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。

第10期 よこすか市民後見人養成研修 事前説明会

よこすか市民後見人からの活動報告とともに、9月5日から始まる養成研修の内容について説明します。第10期よこすか市民後見人養成研修の受講を希望される方は、いずれかの回にご参加ください。第1回と第2回の内容は同じです。

日 程：第1回 令和元年 7 月25日(木) 18時30分～20時
第2回 令和元年 8 月 1 日(木) 13時15分～14時45分
※やむを得ず不参加の場合は、事前連絡のうえ7月26日(金)から8月30日(金)までにご来所いただき、資料をお受け取りください。

会 場：総合福祉会館2階 市社協 第2会議室
内 容：・第10期よこすか市民後見人養成研修の事前説明
・よこすか市民後見人による活動報告

定 員：42名(定員を超えた場合は抽選) **参 加 費：**無料

参加要件：横須賀市在住・在勤・在学の方

(養成研修の申し込み対象は、平成31年4月1日時点で20歳以上70歳未満の方です)

申込方法：申込書に必要事項をご記入のうえFAX・Eメール・郵送・市社協窓口へ提出
(7月17日(水) 17時必着)

※横須賀市社協ホームページより、チラシ・申込書をダウンロードできます。チラシ・申込書は、市役所高齢福祉課、行政センター、役所屋、地域包括支援センター等にあります。

問 合 せ：市社協 あんしんセンター TEL.(8 2 1) 3 6 0 5

参加者募集!! 成年後見はじめて講座

成年後見制度のしくみ(法定後見・任意後見)や、どのような場面で必要になるのかを、わかりやすく説明します。

日 時：令和元年 8 月24日(土) 14時～16時
内 容：・成年後見制度(法定後見・任意後見)とは
・後見人等の役割
・成年後見制度を利用すると変わること

講 師：司法書士 橋本 健司 氏(公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート 神奈川県支部)

会 場：総合福祉会館2階 市社協 第2会議室
※公共交通機関をご利用ください(京急線汐入駅徒歩6分またはJR横須賀駅徒歩約8分)

定 員：42名(定員を超えた場合は抽選) **参 加 費：**無料

参加要件：横須賀市在住・在勤・在学の方(年齢は問いません)

申込方法：申込書に必要事項をご記入のうえFAX・Eメール・郵送・市社協窓口へ提出
(8月15日(木) 17時必着)

※横須賀市社協ホームページより、チラシ・申込書をダウンロードできます。チラシ・申込書は、市役所高齢福祉課、行政センター、役所屋、地域包括支援センター等にあります。

問 合 せ：市社協 あんしんセンター TEL.(8 2 1) 3 6 0 5

受講者募集!!



“地域の力”で高齢者や障害者を支える

第10期 よこすか市民後見人養成研修

横須賀市で活躍する「よこすか市民後見人」

認知症・知的障害・精神障害などにより判断能力を欠く方（被後見人）は、治療や介護を受けるために自分で契約することや、財産を適切に管理することができません。成年後見制度は、家庭裁判所から選任された成年後見人等が、被後見人の意向を尊重しながら、被後見人の心身の状態や生活状況に十分配慮し支援する制度です。

成年後見制度の利用が必要にもかかわらず、支えてくれる人が見つかりにくいという認知症高齢者や障害者が増えています。「よこすか市民後見人」は家庭裁判所から選任され、専門職*と協力し、横須賀市社会福祉協議会のサポートを受けながら、市民のたすけあいでは後見活動を行います。

「よこすか市民後見人」は、横須賀市と横須賀市社会福祉協議会が9期にわたり養成しています。

専門職・・・弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士等

◆ 参加要件 ○全日程参加できる方

○横須賀市に住民登録がある20歳以上70歳未満の方（平成31年4月1日時点）

○民法で定める「後見人の欠格事由」に該当しない方

◆ 参加定員 42名（定員を超えた場合抽選）

◆ 費用 無料

◆ 場 所 総合福祉会館2階 市社協 第2会議室

◆ 内容と日程（予定） ※変更する可能性があります。

基礎編（全6回）令和元年9月5日～10月10日 いずれも木曜日
13時15分～17時前後

※講義内容により、終了時間が異なります。



ご応募お待ちしております！

第1回	9月 5日	市民後見人の活動概要、精神・知的障害者の理解
第2回	9月12日	高齢者・認知症の理解、民法
第3回	9月19日	日常生活自立支援事業、法定後見制度・任意後見制度
第4回	9月26日	高齢者関係の施策、高齢者福祉一般施策
第5回	10月 3日	障害者関係の法律と施策、精神・知的障害者施設の概要
第6回	10月10日	地域包括支援センターの概要、消費者契約法・特定商取引法

※基礎編修了後、応用編受講希望者のみ効果測定・小論文選考があります。

※応用編（全6回）、面接選考および実務研修を修了後、「よこすか市民後見人」として登録されます。

*申込締切：令和元年8月28日（水）17時 必着

○申込書（市役所・行政センター・役所屋などで入手可）にご記入のうえ、FAX・Eメール・郵送・市社協窓口提出にてお申込ください。

○横須賀市社協ホームページでも、チラシ・申込書がダウンロードできます。

◆問合せ：市社協 あんしんセンター TEL. (821) 3605



第42回ふれあいキャンプ 当日ボランティア大募集!!

まだ見ぬ世界へ飛び込もう! 今年もやります「ふれあいキャンプ」。実行委員の学生たちが、笑顔になれるプログラムを企画中です。みんなの熱いエネルギーで暑い夏を楽しもう!

- 日 程:** 令和元年8月17日(土)~18日(日) [1泊2日]
場 所: 鴨居コミュニティセンター(鴨居3-11-12)
内 容: 主に知的な障害のある小学4年生から高校3年生までの子どもたちが、ボランティアと泊まりながら、たくさん遊ぶキャンプです。
対 象: 15歳以上(高校生以上)の健康で、子どもたちにやさしく接してくれる気持ちのある方50人 ※先着順
申 込 み: 電話・FAX・E-mailのいずれかで、
 ①氏名(フリガナ)、②性別、③年齢(学生は、学校・学年)、④住所、
 ⑤電話番号をよこすかボランティアセンターへお知らせください。
 ※高校生は保護者のサインが必要です。
申込期間: 6月11日(火)~7月16日(火)
そ の 他: 事前説明会に必ずご参加ください。



【ふれあいキャンプ事前説明会】

日 時: 8月3日(土) 12時30分~16時 **場 所:** 総合福祉会館5階(本町2-1)
内 容: キャンプに参加する子どもたちとの顔合わせがあります。必ず参加してください。参加できない場合、応募をお断りさせていただく場合があります。予定等入っている場合には事前に事務局にご相談ください。

視覚障害者誘導 ボランティア 養成講習会

- 日 時:** 令和元年7月28日(日)
 9時30分~12時30分
場 所: 総合福祉会館4階
 点字図書館 研修室
参 加 費: 無 料
連 絡 先: 090-4055-5311 (深作)
申 込 締 切: 7月20日まで
主 催: 横須賀市視覚障害サポート協会
講 習 内 容:
 1. 視覚障害者に対する接し方及びガイドについて
 講師 点字図書館職員 青松氏
 2. 持ち物
 筆記用具・誘導実技を行いますので
 軽装で参加下さい。



★個人(65人)
 鈴木立也、佐野美智子、福本眞和、松尾健一、松尾澄江、松尾亮平、松尾芽生、稲葉抄子、稲葉優子、小林由恵、小林慶輝、小林優貴、小林大翔、八文字照子、毛受穂、市川高広、市川直美、市川麻央、市川茂子、平野由紀、平野友康、平野裕大、平野夏帆、木村涼織、林啓之、林真理、林七菜子、林眞啓、須山亜耶、須山佳行、須山莉緒、須山柚莉、三小田

★団体(1団体)
 フィオーレ・里浜
 博文、三小田道子、岡部萌実、鈴木孝芳、鈴木眞理子、鈴木孝太郎、鈴木響子、鈴木芳子、澤野敏子、小川時代、鈴木昌子、鈴木篤、齊藤広将、逸見奈々子、佐伯佳子、重藤きみ、林敏夫、江嶋美由紀、岡田浩子、吉田恵利子、吉田英男、横川和司、野中禮治、山内雪枝、鈴木タケノ、飯島高子、飯田洋介、岩田恭宗、岩田勝江、藤原尉夫、匿名、飯島義信、明珍スイ

平成31年3月1日
 令和元年5月31日
 (順不同・敬称略)

よこすか障害福祉cafe2019

(新たな福祉人材の発掘と障害福祉の啓発活動)

いいね横須賀!

できることから始めよう!

~横須賀ユニバーサルデザイン構想をめざして、誰もが住みたいまちを障害福祉から発信しよう~

「障害のある人に住みやすい街は、すべての人に住みやすい街になる」
 そんな横須賀市の街を夢見る構想が、「横須賀ユニバーサルデザイン構想」。今回の「よこすか障害福祉cafe2019」は、企画のバージョンをアップさせ、障害福祉の業界から、そんなメッセージを発信し、具体的にはさまざまな市民活動や当事者の活動、施設・事業所等の取り組みなどの紹介を行う予定です。

- 日 時:** 令和元年7月20日(土)
 10時30分~15時30分
場 所: 神奈川県立保健福祉大学
内 容: 管理図書館棟 2階 大会議室他
 10時~
 受付(参加無料、入退室自由)
 10時30分~
 ・「いいね!よこすか」と題して、さまざまな取り組み等のステージ報告
 ・参加法人等の「求人紹介」
 ・カフェコーナーの設置(無料提供)
 ・その他
 16時 終了
主 催: 横須賀市障害関係施設協議会

賛助会員のご紹介

賛助で参上!
 社協活動応援団



☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。かながわ信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙を送付させていただきます。
 (両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)

★個人会員 一口1000円

★団体会員 一口5000円

*会費は年度会費(4月~3月)となっており口数は何口でも結構です。

〒238-0041

本町2-1 総合福祉会館2階

横須賀市社会福祉協議会 総務課

TEL (821) 1301

FAX (827) 0264

E-mail shakyo@wg7.so-net.ne.jp



羽ばたく翼、ともに築く未来

かながわ信用金庫

年金のお受け取りは「かながわ信用金庫」へ

ボランティアセンターを彩る四季
／「金魚すくい」
＊登録ボランティア
・布おもちゃグループ「ポケット」
製作



よこすかボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階

開 所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

(土・日曜日と祝日は休み)

電 話 (821) 1303・(825) 0017 / FAX (824) 8110

E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>

※ボランティア等の申込み・問合せ先を明記していないものは、よこすかボランティアセンターが窓口です。

第11回 “福祉の学び” ボランティア学習会

～いつまでも若々しく元気の秘訣は～

その秘訣そっと教えます

元気ハツラツ!!若者も、年寄りも。こんな毎日が過ごせたらいいですね～。そこで今回は、保健所のエキスパートの管理栄養士・保健師さん。更に、80歳を過ぎて尚、現役ボランティア活動家の船津さんから手ほどきを頂きます。

日 時： 令和元年 7月27日(土) 13時30分～15時40分

会 場： 市立総合福祉会館 5階ホール

内 容： <第1部>

「健康寿命を伸ばしましょう!!」～食の観点から～

講師：横須賀市健康部保健所健康づくり課

管理栄養士 小菅 直子 さん

<第2部>

「いかに毎日を動いて過ごすか?」～継続は力なり!～

講師：横須賀市健康部保健所健康づくり課

保健師 矢内 涼子 さん

<第3部>

わしの健康法 「一杯の水と塩水で鼻のうがい。。。」

～あと5年、あと5年と言い続けて、もう15年～

講師：船津 邦男 さん ※手話・要約筆記あり

申込み連絡先： よこすかボランティアセンター内

電話 046 (821) 1303 FAX 046 (824) 8110

※ご参加される方は、前日までに上記に申し込みをしていただければ幸いです。なお、当日受付もしております。

主 催： 横須賀市ボランティア連絡協議会

後 援： 横須賀市、横須賀市社会福祉協議会



昨年の様子

災害時ボランティアセンター コーディネーター養成講習会

災害復興には、全国からのボランティアの力が欠かせません。

災害時ボランティアセンターのコーディネーターについて学びます。

日 時： 令和元年10月19日(土)

10時～16時

場 所： 総合福祉会館

参加費： 1,000円

申込み： 9月11日(水)以降に、①氏名(フリガナ)、②性別、③年齢、④住所、⑤電話番号をよこすかボランティアセンターへお知らせください。

※社協だより10月号で詳しくご案内します。



中高年のためのパソコン教室

無料 体験授業&教室説明会 参加者募集!



富士通オープンカレッジ横須賀校

お問い合わせ TEL. 046-838-0402

お気軽にお電話下さい



【主催】株式会社アド・マインド



お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たる時はお休みさせていただきます。12時〜13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の種類が異なります（一般生活費の貸付けはありません）。
- ②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要です（市内在住の方）。

【予約制】窓口の相談は混雑していますので、お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

●毎週月・金曜日

9時〜11時30分・13時〜16時
予約はTEL(822)13001
地域福祉課 生活福祉資金担当



住宅改造相談

ちよつとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日

10時〜15時 市社協相談室
予約はTEL(823)0386
神奈川県建築士事務所協会
横須賀支部へ
受付時間 10時30分〜17時

みんなで楽しむコンサート2019

このコンサートは、コンサートに来たことがある方もない方も、小さな子どもから高齢の方、障がいのある方も、みんなで一緒に楽しむ垣根のないコンサートです。静かにいられるかな、周りに迷惑かけないかななどの心配はいりません。楽しみ方の表現も感じること、人それぞれ。みんなのやさしい、あたたかな気持ちに包まれたコンサートです。

今年も、一人でも多くの方に音楽が届けられますように。

日 時：令和元年8月10日（土）
13時15分 開場／14時 開演
場 所：横須賀市文化会館 大ホール
出 演：松永 知史（ソプラノ）
三浦 章宏（ヴァイオリン）
青木 篤子（ヴィオラ）
東 誠三（ピアノ）
内 容：エルガー（愛のあいさつ）
ショパン（木枯らし）
ヘンデル（パッサカリア）
ブラームス（ピアノトリオ 1番 変ロ長調）
日本のうた、童謡 ほか



入場券のお取り扱いについて

障害者手帳・療育手帳をお持ちの方（介助者1名も含む）
小学生以下のお子様は無料です。
ただし、往復葉書等で入場券（無料）の申し込みが必要です。

入場券（無料）の申し込み※一般入場券（1000円）も併せて購入可

▶往復葉書

次の事項を記入し往復葉書でお申し込みください。（8月3日必着）
①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
⑥一般入場券（1000円）枚数 ⑦入場券（無料）枚数
⑧車いすご利用の有無
宛 先：〒238-0012横須賀市安浦町2丁目 ザ・タワーハウス102
「みんなで楽しむコンサート2019」実行委員会 行

▶Web <http://bit.ly/2Kuoe1L>

一般入場券（1000円）の購入

横須賀市文化会館（046-823-2951）はまゆう会館（046-852-1166）
オクタヴ（046-826-3838） 信濃屋書店（046-822-0405）

問合せ：みんなで楽しむコンサート実行委員会
046-827-8821
（受付時間：平日10時〜17時）

ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。（敬称略）
平成31年3月1日

令和元年5月31日

御根岸工務店、佐藤昌久、手話サークル逸見、御エィワイ、横須賀市資源回収協同組合、車椅子ダンスよこすか（矢車草）、横須賀落語愛好会、藤田智栄子、鈴木タケノ、かもめ学級、代表 西宮昌代、鈴木綾子、長島久勝

上町第2地区ボランティアセン
ター、衣笠地区ボランティアセン

ター、アメグフト、中里末子、横川和司、松生キヨ、手話サークル逸見、16ミリ試写室、本町デイサービスセンター、佐野香代子、総合相談係佐藤、あじさい指の会、三浦半島自然保護の会、武谷広子、浦賀地区ボランティアセンター、布おもちゃグループポケット、クローバーの会、藤井千枝、コルアルカディア、早乙女明代、徳嶺啓子、なづめ、手話ダンスグループ「ゆらぎ」、あやの会

寄付金 15件 一三五八、四六六円
物品 36件

あとがき

いよいよ日常介護の本番がやってきました。アルツハイマー型認知症の義母の症状は確実にゆっくりと進行しています。

大正生まれの義母は嫁の私より腕力・脚力・食欲が勝っていたせいか介護認定も期待するほどの度数が出ません。一番困ったのは、入浴と紙パンツの取り替えに対する激しい拒否。デイサービスの勧めなど、もつてのほかでした。悪臭がただよう食卓で、たまりかねた夫と義母の親子の言い合いは、きわどい暴言が行き交いました。

長い間、私は地域福祉に携わらせていただき、地域の方々から相談を受けるたびに様々な関わりや窓口を紹介し、そのための研修も数えきれないほど受けてきたはずなのに、自分の身に降りかかった現実には腰が引け、紺屋の白袴状態となっていました。

そんな時突然、思ってもいない好機（？）が訪れました。昨年の暮れ、自分の筆筒の下敷きになり額から血を流し動けなくなっていた義母は、駆け付けていただいた救急隊員に優

しく諭され、担架で病院へと運ばれて行きました。

お陰様（？）で今年のお正月は、神様から大きなお年玉をいただいたように思ったものです。

ところが一ヶ月後、家族の予想を大きく裏切り義母は完全復活を遂げてしまいました。しかし、ケアマネジャーや介護職の方々のご協力、今ではデイサービスに行くようになり、介護保険の有難さを身にしみて感じているところです。

先ごろ政府は、「認知症大綱」を示しました。団塊の世代が後期高齢者になる二〇二五年までに七〇代の認知症を六％減らすとのこと。団塊の当事者としては、どうしたら認知症を予防できるか具体的な方法が気になります。新聞情報によると認知症は認知症を先送りすることはできるが、認知症にならない予防はできないとのこと。

最大の発症のリスクは「長生き」だそう、努力しても発症は免れないとなれば、長生きもつらいものがあります。

「人生一〇〇年」時代の到来。団塊の世代は、次世代を担う若い方達に厄介はかけたくない願っているのですが・・・

（Y）